

CONTENTS	● 東京楽器博2024が科学技術館にて開催	1~5
	● 東京楽器博2024「TOKYO GAKKI EXPO 2024」AMEIセミナー報告	6~7
	● AMEI会員名簿・令和6年度MIDI検定告知・SysExID会員募集	8

## 東京楽器博2024が 科学技術館にて開催

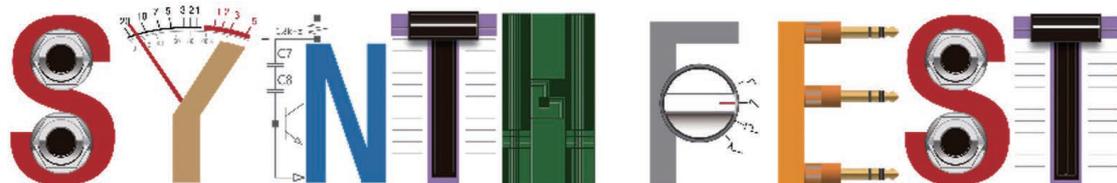


2024年11月2日、3日の二日間、東京北の丸公園にある科学技術館にて「東京楽器博2024」が開催されました。シンセサイザー等の電子楽器を始め、ドラム、ギター&ベース（エレキ/アコースティック）、ウクレレ、管楽器、DJ機器など、多くの楽器ジャンルが集結し、来場者は8,115名、出展社は96社（団体含む）と国内最大級の楽器イベントとして実施されました。

AMEIも協力企業として参加しておりますので、こちらでは「東京楽器博2024」全体のレポートを記載したいと思います。

## 東京楽器博誕生の経緯

MIDI 検定指導研究委員会 上杉 尚史



東京楽器博は2023年に引き続き2回目の開催となりますが、このイベントの前身は一般社団法人日本シンセサイザープロフェッショナルアーツ (JSPA) が主催していた「SYNTH FEST (シンセフェスタ)」になります (FESTAではなくFESTです)。さらに遡ると2002年11月に同団体が開催した「Synthesizer Festa 2002」(恵比寿イーストギャラリー)に始まり、名称こそ変化はあったものの20年以上前からビンテージシンセを交え、最新のシンセサイザーや音楽制作ソフトウェアに触れることができるイベントとしてほぼ毎年開催してきました。

皆さんもご存じの「楽器フェア」も、ユーザー参加型の楽器展示イベントとして長い歴史があり、上記の「シンセフェスタ」も楽器フェア内の一区画に団体出展という形式で開催されていた時期もありました。

しかし、このような楽器イベントは、業界全体の国内マーケット縮小の流れもあり、集客数、出展社数の減少に加え、2019年12月から流行した新型コロナウイルスの影響も重なり、近年ではあまり実施されることが無くなっていました。

そんな中、「シンセフェスタ」に関しては電子楽器ユーザーの特性を活かし、コロナ過においてもオンラインイベントを実施するなどして開催を続け、2021年には銀座、2022年には青山でリアルイベントを実施。2023年は科学技術館での実施を計画しておりました。この2023年の開催計画の際に、シンセサイザー以外の楽器メーカーや他の楽器業界団体との共催を検討し、東京楽器博という名称にして様々なジャンルの楽器を展示するイベントに発展させるに至りました。



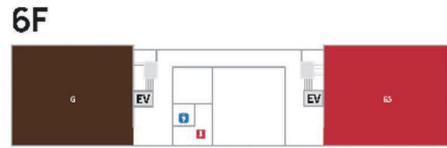
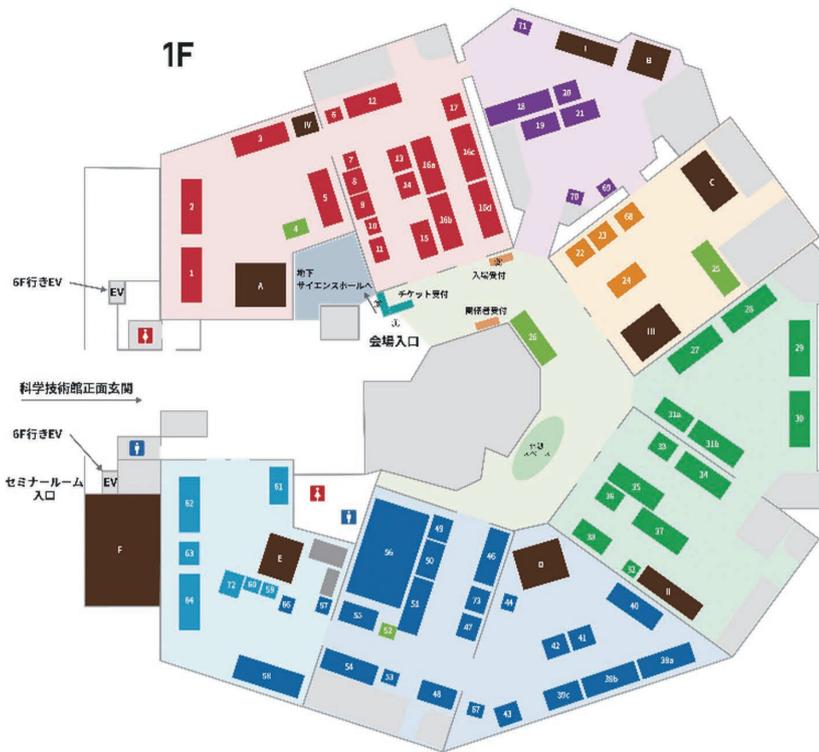
## 科学技術館全体を活用した大規模イベントに発展

2023年は科学技術館のホール2～6までを使用した中規模のイベントでしたが、2024年は科学技術館地下にあるサイエンスホールを含め、全館(科学技術館の常設展示エリアを除く)を使用して開催しています。

科学技術館1Fの展示ホールエリアには1号館～11号館までの11のホールがあるのですが、スタッフルームとして使用していた1号館を除き、1Fスペースすべてを活用して実施されました。

2号館、3号館はシンセサイザー(「シンセフェスタ」)エリア、4号館はDJ・音楽制作エリア、5号館は管楽器・弦楽器(一部楽譜販売)エリア、6号館、7号館はドラム・パーカッション(「ドラマーズパラダイス※1」)エリア、8号館、9号館はエレキギター/ベース・アンプ・エフェクター(一部「GEN※2」)エリア、10号館はアコースティックギター・ウクレレエリア、11号館はセミナールームとなっており、センターホールではウィリアム・ヘイムス氏の写真展が開催されるなど、様々な層に楽しんでもらえるイベントになっています。

## 東京 TOKYO 2024 楽器博 会場フロアマップ TOKYO GAKKI EXPO



- シンセサイザー
- DJ・音楽制作
- 管楽器・弦楽器
- ドラム・打楽器
- エレキ・アンプ・エフェクター
- アコギ・ウクレレ
- その他ブランド
- ステージ・体験コーナーなど

### 出展社

- |                            |                            |                            |
|----------------------------|----------------------------|----------------------------|
| 1. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント  | 20. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント | 38. ローランド株式会社              |
| 2. ユーランド株式会社               | 21. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント | 39. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント |
| 3. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント  | 22. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント | 40. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント |
| 4. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント  | 23. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント | 41. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント |
| 5. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント  | 24. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント | 42. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント |
| 6. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント  | 25. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント | 43. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント |
| 7. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント  | 26. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント | 44. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント |
| 8. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント  | 27. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント | 45. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント |
| 9. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント  | 28. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント | 46. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント |
| 10. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント | 29. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント | 47. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント |
| 11. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント | 30. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント | 48. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント |
| 12. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント | 31. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント | 49. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント |
| 13. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント | 32. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント | 50. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント |
| 14. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント | 33. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント | 51. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント |
| 15. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント | 34. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント | 52. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント |
| 16. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント | 35. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント | 53. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント |
| 17. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント | 36. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント | 54. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント |
| 18. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント | 37. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント | 55. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント |
| 19. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント | 38. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント | 56. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント |
| 20. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント | 39. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント | 57. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント |
| 21. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント | 40. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント | 58. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント |
| 22. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント | 41. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント | 59. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント |
| 23. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント | 42. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント | 60. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント |
| 24. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント | 43. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント |                            |
| 25. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント | 44. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント |                            |
| 26. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント | 45. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント |                            |
| 27. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント | 46. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント |                            |
| 28. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント | 47. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント |                            |
| 29. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント | 48. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント |                            |
| 30. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント | 49. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント |                            |
| 31. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント | 50. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント |                            |
| 32. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント | 51. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント |                            |
| 33. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント | 52. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント |                            |
| 34. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント | 53. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント |                            |
| 35. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント | 54. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント |                            |
| 36. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント | 55. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント |                            |
| 37. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント | 56. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント |                            |
| 38. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント | 57. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント |                            |
| 39. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント | 58. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント |                            |
| 40. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント | 59. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント |                            |
| 41. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント | 60. 株式会社ヤマハミュージックシンセプレジデント |                            |



## ステージやセミナーイベントも充実

会場内にはカテゴリーごとにミニステージも組まれており、セミナールームのイベントを合わせると、2日間で50以上のイベントが実施されました。

また、6Fにある会議室エリアでは、「Yamaha Synth 50th Anniversary 特別展示」も実施され、歴代のヤマハシンセサイザーの実機展示（試奏可能）とパネル展示も行われました。



さらに会場地下にあるサイエンスホール（約400名収容）ではアーティストによるライブも開催。サイエンスホールのライブだけは準備日11/1にも前夜祭として「THE JAZZ AVENGERS スペシャルライブ」が行なわれました。

11/2は昼公演でSATOKO(THE&)氏、Kid'z(MY FIRST STORY)氏、灰雲(久遠)氏、にゃんごすたー氏による「ドラマーズ・パラダイス2024スーパーセッション」、夜公演には浅倉大介氏、守尾崇氏、nishi-ken氏、大楠雄蔵氏による「Yamaha Synth 50th Anniversary スペシャルファンミーティング」を開催。11/3は昼公演に押尾コータロー氏、coba氏、Sam Pomanti氏、鳴瀬喜博氏、Hiromu Fukuda氏、マーティ・フリードマン氏、村田隆行氏、ROLLY氏、大月文太氏、岡田真帆氏、笹井BJ克彦氏、ハナブサユウキ氏出演の「KORG CROSSOVER MUSIC FESTIVAL」、夜公演に森恵氏、おかゆ氏、番匠谷紗衣氏、ゆいにしお氏出演の「ガールズシンガー・アコースティックギターコレクション2024」を実施し、3日間で5公演を開催してイベント全体を盛り上げました。

この他にも、ハーモニカ体験教室、ウクレレ体験教室、子供シンセサイザーワークショップなど、大人から子供まで楽器を体験できるイベントも開催するなど、単なる展示イベントとは異なる多種多様な企画を実施しています。

AMEIとしては、イベント全体への協力に加え、「MIDI 2.0 セミナー」を11/2、11/3に1回ずつ計2回実施いたしました。こちらの内容につきましては三浦さんのレポートを参照ください。





## 前年比2倍以上の動員を記録

展示エリア、出展社数ともにスケールアップして開催された東京楽器博 2024 は、楽器業界全体のイベントに成長しつつ、前年の2倍を超える動員を記録して大盛況となりました。また、シンセサイザーをはじめとする電子楽器のユーザー層に、ハーモニカやウクレレといったアコースティック楽器を体験していただく良い機会になったり、アナログ楽器のユーザー層にシンセサイザーや MIDI 関連商品を知っていただく効果もあつたりと相乗効果も生まれました。さらに出展社の中には数社海外からの出展もあり、このイベントの運営に携わっている私にとっても、日本の楽器展示イベントがグローバル化していく様子を感じる良い機会でした。

## 2025年は11月1日～2日に開催予定

東京楽器博は 2025 年のスケジュールも既に決まっており、2025 年 11 月 1 日、2 日の 2 日間科学技術館にて開催する予定です。詳細については 3 月中旬を目処に発表されます。

東京楽器博の運営母体は前述の通り一般社団法人日本シンセサイザープロフェッショナルアーツ (JSPA) ですが、実行委員長に元ヤマハミュージックジャパンの小島高則氏 (現メジャーセブンス株式会社)、統括プロデューサーに氏家克典氏 (一般社団法人日本シンセサイザープロフェッショナルアーツ相談役)、事務局長として私上杉 (一般社団法人日本シンセサイザープロフェッショナルアーツ専務理事) が担当いたしますので、何かございましたらお声がけいただければと思います。

2025 年の東京楽器博は 1 万人規模のイベントを目指しておりますので、是非皆様ご協力の程、よろしく願いいたします。

※ 1 2014 年にスタートした世界最大規模のドラム・イベント

※ 2 Gakki Engine of Nioopn という日本のクラフトギターメーカーの団体

# 東京楽器博 2024 「TOKYO GAKKI EXPO 2024」報告

MIDI 規格委員会委員長 三浦 大輔



前回に続き、東京楽器博 2024 で AMEI 主催の MIDI 2.0 セミナーを実施しました。今回は2日間2回のセミナーを設定し、司会進行をティンバーアーツ上杉さんに依頼し、MIDI 規格委員会・MIDI 2.0 部会からはローランド富澤さん、コルグ菅原さんそしてヤマハ三浦の3名がプレゼンターとして登壇しました。MIDI ユーザー向けに MIDI 2.0 規格の現状を共有、理解していただくことを目的に「MIDI 2.0 の概要」、「MIDI 2.0 製品紹介」、「Windows USB MIDI 2.0 Driver and Service」、「Q&A」という構成としました。2日目のセミナーはこれに加えて開発者向けに「はじめての MIDI 2.0 App on Windows」と題したセッションを実施しました。

まず「MIDI 2.0 概要」では、MIDI 2.0 規格の基本として、MIDI-CI の双方向通信による自動設定、MIDI 2.0 Protocol の高解像度化 = High-Resolution とノート毎のコントロール = Per-Note Controllers による表現力向上、そして既存の MIDI 1.0 と MIDI 2.0 機器との共存・拡張の仕組みについて紹介しました。



本セミナーの目玉である「MIDI 2.0 製品紹介」では、ローランド、ヤマハ、コルグの順番で各社の MIDI 2.0

対応製品で実現できる価値について本体実演を交え説明、紹介しました。

ローランド富澤さんからは、MIDI 2.0 Protocol に対応しているローランド A-88MK2 と Apple Logic Pro、Synthogy Ivory3 を使って、MIDI 2.0 環境で曲制作するための Workflow について紹介しました。

A-88MK2 と Mac は USB MIDI 2.0 で接続、A-88MK2 を MIDI 2.0 モードに設定すると打鍵による Note Velocity とノブ操作による Control Change が高解像度で出力されること、高解像度 Note Velocity に対応している Ivory3 は A-88MK2 からの高解像度 Note Velocity を受信して発音すること、Logic Pro では高解像度 MIDI 2.0 メッセージの録音、再生、編集ができることを紹介しました。実演では、A-88MK2 で曲フレーズを演奏、Logic Pro で Note Velocity を高解像度録音、録音された複数ノートの Velocity をまとめて変更、変更後のフレーズを再生して想定通り変更されていることを確認しました。これまでアメリカの楽器ショーである NAMM ショーでデモが行われていましたが、日本国内では初の実演となりました。

ヤマハ三浦からは、MIDI 2.0 Protocol 高解像度メッセージに対応している MONTAGE M v2.0 と Cubase 13 の連携について紹介しました。

この場では、MONTAGE M v2.0 のパラメータ高解像

**AMEI Yamaha MONTAGE M v2.0**

Yamahaの最初のMIDI 2.0 Protocol, USB MIDI 2.0対応製品

- ・ノートベロシティ
- ・アフタータッチ (Poly, Channel)
- ・スーパーノブ
- ・ピッチバンド、モジュレーションホイール
- ・8個のノブ、8本のスライダー
- ・フットコントローラー、サステイン

※物理的なコントローラー類は10 bits (1,024 steps)で動作



Cubase 13とはMIDI 2.0でやり取りでき、「ハイRez」でMIDI録音、再生可能

- ・MIDI 2.0を使う場合は・・・USB Driver Modeを「Generic」としてください

度化によるスムーズな音色の変化について動画を使って紹介しました。また、現在開発中の Windows 用の USB MIDI 2.0 Driver と MIDI Services と Cubase の試作を利用し、実際に Windows PC を使って MONTAGE M からの高解像度 Note Velocity メッセージを USB MIDI 2.0 経由で Cubase に記録、再生するデモを行いました。Microsoft、Steinberg から事前に許可を受けたことで、日本国内で初めて本システムについて紹介することができました。



コルグ菅原さんからは、MIDI-CI Property Exchange 対応製品の Keystage 49 とシンセサイザー (wavestate native、KORG Module、modwave module) を使い、様々なセッティングにおいて MIDI-CI Property Exchange で実現された「簡単、便利」を実演しました。

Keystage 本体と各シンセサイザーを接続すると自動で接続先のシンセサイザーの現在の音色プログラム名、パラメータ名・値・単位などを取得します。Keystage のディスプレイに情報が表示されていること、各機の操作で互いに連動して値が変化し実際に音色が変わること、そしてケーブルを繋ぎ直して接続先を変えても Keystage ディスプレイの表示内容がその接続先のものに変わっていることを実演しました。

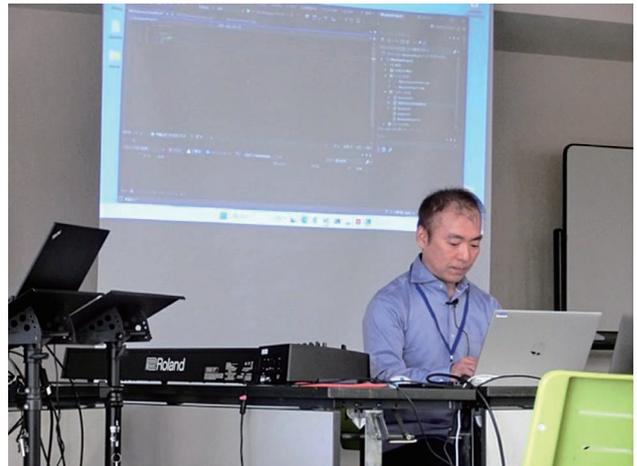
長年 MIDI 2.0 規格を策定している立場としては、このように一つの会場で様々な MIDI 2.0 対応製品を開発関係者たちが実演を交えて MIDI 2.0 の価値を伝えることができ、来場者に実際に体感していただけたことは非常に感慨深いものでした。

続いて「Windows USB MIDI 2.0 Driver and Service」では、AMEI で資金提供、成果物の検証を行っている Windows 向けの USB MIDI 2.0 ホストドライバの開発進捗状況について紹介しました。



Microsoft の Pete Brown 氏がアップした記事を紹介し、開発が最終段階まで進んでいること、近い将来一般公開されることをアピールすることができました。

2日目のセミナーでは、ローランド富澤さんによる「はじめての MIDI 2.0 App on Windows」と題し、Windows PC 上での開発環境セットアップと開発手順を見せるライブコーディングを実施しました。Microsoft から提供されている MIDI Services/API を利用して MIDI 2.0 メッセージを送受信するデスクトップアプリをリアルタイムでコーディングしました。



アプリプロジェクトの作成から、ライブラリのインストール、ソースコードの作成、ユーザーインターフェイス、モニタリングツールでメッセージの確認、までを実演しました。時間が限られた中、また強いプレッシャーを感じながらも無事やり遂げ、来場者からもねぎらいの拍手をいただきました。セミナー後にソフトウェア開発者の方から個別に質問を受けるなど、ユーザー以外の方にも興味を引くことができたセッションとなりました。

このセミナー以外にも AMEI としては事前に「いちばん新しい MIDI のお話し」という冊子を作成しました。



簡潔かつわかりやすく MIDI と MIDI 2.0 を説明したもので、3000 部作成し東京楽器博来場者に全て配布しました。このように来場者に向けて、MIDI を広くアピールすることができたと思います。

今回の東京楽器博の来場者は、初日は悪天候にもかかわらず、前年 2 倍以上の 8,115 名でした。来年以降も続くイベントとなることが期待されますので、AMEI としても継続して MIDI と MIDI 2.0 を広めるための施策を積極的に実施してまいります。

令和6年能登半島地震により被災された皆様に、  
 謹んでお見舞い申し上げますと共に、  
 1日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。

## 会員名簿

50音順 2025年2月1日現在

<b>あ</b>	<b>し</b>	<b>ふ</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>AlphaTheta 株式会社</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>株式会社シーミュージック</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>株式会社フェイス</li> </ul>
<b>い</b>	<b>す</b>	<b>や</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>株式会社インターネット</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校法人尚美学園</li> <li>株式会社シンクパワー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>株式会社ぶらあぼホールディングス</li> </ul>
<b>え</b>	<b>そ</b>	<b>ろ</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>株式会社エクシング</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>株式会社ズーム</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヤマハ株式会社</li> <li>株式会社ヤマハミュージックエンタテインメント</li> </ul>
<b>か</b>	<b>た</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>カシオ計算機株式会社</li> <li>株式会社河合楽器製作所</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>株式会社鈴木楽器製作所</li> <li>株式会社スリック</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホールディングス</li> <li>ローランド株式会社</li> </ul>
<b>く</b>	<b>て</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>クリプトン・フューチャー・メディア株式会社</li> <li>クリムソンテクノロジー株式会社</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>株式会社第一興商</li> <li>ティアック株式会社</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;正会員会社 23 社&gt;</li> </ul>
<b>こ</b>	<b>な</b>	<b>* 賛助会員</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>株式会社コルグ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>株式会社 nana music</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中音公司 (中華人民共和国)</li> <li>株式会社博秀工芸</li> </ul>
	<b>は</b>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>バイオニア株式会社</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>株式会社ミュージックトレード社</li> <li>株式会社リットーミュージック</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;賛助会員会社 4 社&gt;</li> </ul>



一般社団法人音楽電子事業協会 (AMEI) システム・エクスクレーシブ ID 会員募集中。法人、個人を問わず楽器やMIDIアプリ、自作MIDI機器等を開発しようとする皆様に、会員規程のもと、System Exclusive Manufacture's ID Numberを発行致します。



### 令和6年度 MIDI検定試験

MIDI検定とは実際の音楽制作現場で必要とされる知識の習得を目的とした検定制度です



## 第26回 MIDI検定2級2次試験

筆記試験：2025年2月15日(土) オンラインにて筆記試験+制作課題説明  
 課題制作：2025年2月16日(日)~17日(月) 提出2月17日(月)

AMEI NEWS Vol.84 / 2025.2.28  
 一般社団法人音楽電子事業協会 機関誌  
 発行：一般社団法人音楽電子事業協会 事務局  
 〒101-0061  
 東京都千代田区神田三崎町 2-16-9 イトービル 4F  
 TEL.03-5226-8550 FAX.03-5226-8549  
 発行人：水野 滋  
 編集人：石黒士郎 (広報委員会)  
 編集協力：株式会社 博秀工芸  
 ホームページアドレス：  
<http://www.amei.or.jp/>

